

芸閣

～図書館だより～

第8号
2018年1月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



え と 干 支

今年の干支は戊戌（つちのえ いぬ）。
干支とは「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」
の十干と「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・
戌・亥」の十二支を組み合わせたものです。十干の
「干」と十二支の「支」で「干支」です。

甲子（きのえ ね）
乙丑（きのと うし）
丙寅（ひのえ とら）

・
・
・

壬戌（みずのえ いぬ）
癸亥（みずのと い）
60で一周します。

甲子園球場、壬申の乱、戊辰戦争など、干支が名前に
使われています。



12/21

今年度第2回の図書館講座は、「博物館へ行こう！」
和歌山城の近くにある和歌山県立博物館へ行ってきました。
中学生・高校生18名が参加しました。

私たちは12月21日に図書館講座で和歌山県立博物館に行き、展示とバックヤードを見学させていただきました。和歌山県立博物館は、和歌山県の文化財を保護、調査し、展示したり、学校教育と連携したりすることで和歌山県の文化財を広く伝えることを使命としています。私は、博物館に小難しいイメージを抱いていましたが、展示は、博物館初心者でも見やすく、興味の湧くように展示され、学芸員の方がわかりやすく解説してくださいました。また、バックヤードという普段は絶対に入ることのできない裏側にも入ることができたのは、大変貴重な体験になったと思います。

高2A 中西

図書館講座で、和歌山県立博物館の展示・バックヤードの見学に行ってきました。常設展・企画展では、博物館学芸員の方が満遍なく展示品の説明をしてくれたので、自分で見学したときよりもさらに具体的な深い知識を得ることができました。私が特に印象に残ったのは熊野速玉大社の曼荼羅です。ここには人が生まれてから地獄に堕ちるところまでの絵が描かれています。地獄の種類や様子が微細に描写されていて見応えがありました。

バックヤードでは、展示の準備に必要な物が備わっており、意外な博物館の工夫に気づくことができました。また普段は触ることのできない展示品に触ることもでき、とても充実した見学をすることができました。

高2A 柏木

新しく入った本の紹介

小説

- 『百貨の魔法』村山早紀 著 ポプラ社
『僕はロボットごしの君に恋をする』
山田悠介 著 河出書房新社
『浜村渚の計算ノート』3½さつめ～8さつめ
青柳碧人 著 講談社
『ログ・ホライズン』1～10
橙乃ままれ 著 KADOKAWA
『プレストガール!』今井雅子 著 文芸社
『シゼル』秋吉理香子 著 小学館
『光』三浦しをん 著 集英社
『魔法科高校の劣等生23』
佐島勤 著 KADOKAWA

手記

- 『キミの目が覚めたなら～8年越しの花嫁』
中原尚志・麻衣 著 主婦の友社

人生訓

- 『いい言葉は、いい人生をつくる』
斉藤茂太 著 成美堂出版
『最高の引き寄せ』
井上裕之 著 リンダパブリッシャーズ
『リアル人生ゲーム完全攻略本』
架神恭介 至道流星 著 筑摩書房

技術・家庭

- 『虹色のチョーク～働く幸せを実現した町工場の
奇跡～』小松成美 著 幻冬舎
『座敷わらしに好かれる部屋』
伊藤勇司 著 WAVE出版



哲学

- 『死ってなんだろう。死はすべての終わりなの?』フランソワーズ・ダステュール 著 岩崎書店

自然科学

- 『巨大生物摩訶ふしぎ図鑑』
北村雄一 著 保育社
『心と体を蝕む「ネット依存」から子どもたちを
どう守るのか』樋口進 監修 ミネルヴァ書房
『ワクチン副作用の恐怖』近藤誠 著 文藝春秋

今日からモノ知りシリーズ

- 『トコトンやさしい水素の本』
『トコトンやさしい元素の本』
『トコトンやさしい3Dものづくりの本』
『トコトンやさしい異常気象の本』
『トコトンやさしい土壌の本』 著
『トコトンやさしいアミノ酸の本』
『トコトンやさしい水道管の本』
『トコトンやさしい小売・流通の本』
『トコトンやさしい高分子の本』

ブルーバックス

- 『巨大ブラックホールの謎』本間希樹 著
『三つの石で地球がわかる』藤岡換太郎 著
『生命を支えるATPエネルギー』二井将光 著
『美しすぎる「数」の世界』清水健一 著
『時間とはなんだろう』松浦壮 著
『現代暗号入門』神永正博 著
『世界の名作数理パズル100』中村義作 著

